

第58号 2024年9月1日

KSKQ

特定非営利活動法人神戸市精神障がい者家族会連合会

定価 1部 50円

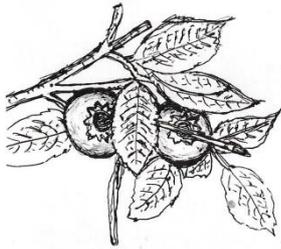
神家連詩

しんかれんし

【編集人】特定非営利活動法人神戸市精神障がい者家族会連合会

【事務局】〒650-0016 神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター4階
TEL・FAX 078-382-0105

【発行人】関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階



「手をつなぐ心の病相談窓口」NPO 法人神家連の輪！！

NPO 法人神家連 理事長・涌波 和信

NPO 法人神家連はこの9月に4年目を迎え、新たな挑戦をします。「ある日突然、精神疾患の宣告を受け、就労も結婚の夢も破壊され、家族が途方に暮れ、何が何だか分からず月日が過ぎて、当事者が安心して自分らしく暮らせるために何の手も打てていないのが現実です」。神家連は専門家チームとの輪を強化して精神保健福祉に貢献します。

(1) の挑戦：「地域支援の会 たちばな」の設立！

まずは、中央区に「手をつなぐ心の病相談窓口」の家族、医師、看護師等、心の病の行政・関係機関と連携する交流の輪を設立します。

(2) の挑戦：「定期的学習会・相談会」の開催（毎月第三火曜日午後）

「親亡き後」シリーズとして、社労士等の専門家や行政・社協等から講師を招いて出前講座を実施します。講演会ではなく、すぐに役立つ実践勉強会です。

(3) の挑戦：毎週金曜日は神家連電話相談日です。窓口は（TEL 078-954-5012）

「定期的ステップアップ研修会」（毎月第四金曜日午後）を開催。時代と共に社会資源も大きく変革・充実しています。先般「たちばな障がい者相談支援センター」「自立（生活）訓練事業所」の職員を交えて対話しました。「ステップアップ研修会」は電話相談員のレベルアップと相談員拡充のみならず、神家連の後継者人材育成を兼ねます。毎月、直接、行政及び各機関から参加いただいています。今後、医師、社協、障がい者相談支援センター、拠点（見守り隊）、特定相談支援事業所、居住支援事業所、自立（生活）訓練事業所等…。

(4) の挑戦：神家連学習会

- ・「こころの病家族教室」10月27日（日）10時～16時 婦人会館
森川すいめい精神科医「オープンダイアログ」～対話とはなにか？
- ・11月23日（土）11時～16時半 長田区文化ホール（ピフレホール）
夏苺郁子精神科医「より良い精神科医療を目指して」主催：兵家連

2024年度こころの病家族教室(主催 神家連)

すいめいさんと一緒に考える「オープンダイアログ」～対話とはなにか？

昨年度の「こころの病家族教室」で兵庫県立大学・川田美和教授に「オープンダイアログとは何か？開かれた対話の可能性」と題して講演していただきました。多くの方々から、今後も「オープンダイアログ」の研修会を継続して行い、一般社会や医療機関に普及させてほしいとの声が寄せられましたので、今年度も同じテーマを取り上げ、更に理解を深めたいと思います。

日時:2024年10月27日(日)

第一部 10時～12時 (受付 9時半～)「森川すいめいさんの講演」

第二部 13時～16時 (受付 12時半～)「対話とは何か？すいめいさんとみんなで考える」

場所:神戸市立総合福祉センター5階、婦人会館 大会議室(さくら)

講師:森川すいめいさん(精神科医)

なお、すいめいさんの経歴や著書等詳細は5頁、申込用紙は6頁をご覧ください。

神家連懇談会のお知らせ

精神疾患を持つ本人は親亡き後、どのように自活していくのか？本人として何を準備すべきか？本人は支援者とつながっていますか？親として何を準備しておくべきか？こうした現実的な問題について、情報を知り、学び、参加者同士で意見交換をして、親も子も安心して生活できるようにする学習・相談会です。毎月第三火曜日午後、神戸市立総合福祉センターで開催します。内容詳細はホームページ等で事前にお知らせいたします。

「親亡き後」シリーズ

第14回神家連懇談会 (9月17日)

「生活保護制度、成年後見制度、日常生活自立支援事業について」

第15回神家連懇談会 (10月15日)

「日常生活支援について」

第16回神家連懇談会 (11月19日)

「終活について」

第17回神家連懇談会 (12月17日)

「ひょうご防災ネットについて」



(ホームページは、スマホ等でこのQRコードを読み取ってください。)

特定相談支援事業所て何だろう？

特定相談支援事業所すずらん 加納 郁久

「相談支援」てなに？

私たちの日常にはどこにでも「相談」があります。親しい人に相談することも区役所に相談することも相談です。もちろん相談支援事業所も相談をお受けするのですが、何が違うのでしょうか？「相談支援」とは、障害者総合支援法で法律上定義を持つ言葉として位置づけられています。具体的には地域生活支援事業に位置付けられる市町村（神戸市の場合は各区にある障害者相談支援センター）が行う「相談支援事業」と自立支援給付事業に位置付けられる都道府県指定の「一般相談支援事業」と「特定相談支援事業」があります。

一般相談支援事業所は、障害者施設や精神科病院に入所、入院している重点的な支援を必要としている方に、相談、外出の同行支援や障害福祉サービスの体験利用、体験宿泊の提供等を行い、地域移行を促す支援を行う地域移行支援と、地域生活を送る利用者に常に連絡が取れる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際の訪問や相談などの必要な支援を行う地域定着支援を行います。

特定相談支援事業所は、就労系（A型やB型等）、居宅介護、グループホーム等の障害福祉サービス等を利用する場合に利用者の意向を尊重し、心身の状況や環境などを確認してサービス等利用計画を作成するサービス利用支援と、障害福祉サービス等が継続的、適切に利用されるよう、定期的に利用状況の確認や計画の見直し、各関係者との連絡調整等を行う継続サービス利用支援（モニタリング）を行います。

「特定相談支援事業所」は利用者を障害福祉サービス等に繋ぐことが仕事？

大雑把に言えばそうですが、大切なことは、利用者中心の計画を立てることです。このためにはニーズを引き出し、その人の強みを知り、必要な支援は何かを明らかにして支援に繋げ、広げることです。しかしそのためには、利用者が本当に困っている事を把握することですが、これには丁寧な対応を行い、信頼関係の構築が必要です。よく相談支援事業所は採算が合わないと言います。これは相談支援事業所が増えない大きな理由の一つですが、利用者中心の丁寧な対応こそが支援の要であると思っています。

精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター 電話番号:078-367-7210

平日：午後5時～翌日午前9時

土、日、祝日、休日：午前9時～翌日午前9時

平日昼間は各区保健センターや精神保健福祉センター（TEL 078-371-1900）へご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に伝えてください。

家族会のご紹介

垂水家族会の歴史 — 宇野元会長を偲ぶ

垂水家族会・前会長 黒岩 ウノ

私が宇野会長とお出会ったのは、1986年(昭和61年)頃だったと思います。神戸三宮の勤労会館で講演会があり、名古屋大学の笠原先生が、心を病む人の脳の中、耳の少し上の部分に病気が起きる等お話されました。講演会が終わる少し前に受付に戻り、入会の手続きをしていると、宇野会長(当時)がおられ、「私の住まいと近いので、また色々お手伝ってもらえますね。垂西むつみ会作業所をご案内できますよ」と言ってくださったことを思い出します。垂水区役所の東側、川原町1丁目に一人暮らしのお年寄りの家があり、その2階を借りて作業所を開かれたということで、見学してみると、メンバーさん7、8人が仕事をしておられ、手慣れた手つきでした。私もお手伝いに通うことにしました。

神家連が発足(1986年4月)してからのことだと思いますが、「バスの定期券も無料に」と市に交渉して、市も認めてくださいました。宇野会長は「西区にも作業所ができないかな」と度々言われていましたので、私も動かなければと思い、土地をもっておられる平野町の農家4、5軒にお願いして回りました。しかし、反応がないので、友達に「ダメだった」と話すと、「私のいところが近くで建築屋をやっているの、聞いてごらん」と電話番号を教えてくれて、早速、連絡を取ってみると、「どうぞお使いください」と言ってくださり、床板を張り替えてくれました。

(「垂西むつみ会作業所」や「なでしこの里作業所」から始まった活動は、その後、社会福祉法人「かがやき神戸」の設立(1999年)等を経て、大きく発展しました。)

「家賃はいりません」とのことでしたが、会長は「市に相談すると出ますので」と言って、10万円の家賃になりました。割と手順よく起ち上がりました。1992年(平成4年)11月6日に、「なでしこの里作業所」として開所式を行い、北家族会の方、岡田さん、畑中さん、メンバーさん、池山さん、宇野会長、私が出席しました。

宇野会長はその後体調が悪くなり、明石市民病院に入院されました。私も心配なので毎日、お見舞いに行きました。翌1993年のある朝「トマトが食べたい」と言われたので、急いで買ってきて食べてもらいましたら、美味しそうに食べられました。後日、息を引き取られました。本当にご苦勞の連続で一生懸命、こころ病む人のために動かれました。

ご長男はお元気で家庭生活を送っておられ、宇野会長亡き後も、私は電話連絡したり、家にお尋ねしたり、苺狩りにお声をかけたりしていました。ある日、ご長男を尋ねると、自宅におられず、ご近所の方に聞くと、道路で膝を痛め、ご長女が精神病院へ入院させたとのことでした。病院に聞いても、家族でないという理由で断られて、病棟も教えてもらえませんでした。ご長男は翌年他界されたと聞き、がっかりしました。何もできず、いまだに申し訳ない気持ちでいっぱいです。宇野会長、ご苦勞様でした。本当に有難うございました。

2024年度 こころの病家族教室のご案内

すいめいさんと一緒に考える 「オープンダイアログ」 ～対話とはなにか？



©百代

1. 日 時 10月27日(日)
第一部 10:00～12:00 (受付 9:30～)
「森川すいめいさんのご講演」
第二部 13:00～16:00 (受付 12:30～)
「対話とはなにか？ すいめいさんとみんなで考える。」
2. 場 所 神戸市立総合福祉センター5階
婦人会館 大会議室(さくら)
3. 対象者 こころの病を持つ方のご家族、当事者、支援者、一般の方
4. 資料代 500円 (半日参加の場合も 500円)

講 師 森川すいめいさん (精神科医)



○森川すいめいさん経歴

1973年東京生まれ、精神科医、鍼灸師。2003年ホームレス状態にある人を支援する NPO 法人「TENOHASI(てのはし)」立ち上げ、2010年認定 NPO 法人「世界の医師団」ハウジングファースト東京プロジェクトに参加。

オープンダイアログ国際トレーナー養成コース二期生で、2020年に日本の医師としては初めてオープンダイアログのトレーナー資格を取得した2名のうちの1人。世界49ヶ国を旅する。著書に「感じるオープンダイアログ」(講談社現代新書)「漂流老人ホームレス社会(朝日文庫)、「その島のひとたちは、ひとの話を聞かない-精神科医、「自殺希少地域」を行く(青土社)、「ハウジングファースト-住まいからはじまる支援の可能性」(共著/山吹書店)など。

○ 参加申込締め切り、申込方法

2024年 10月4日(金) 定員は150名です。定員になり次第締め切ります。

裏面の参加申込票をご確認下さい。

※ 当日会場ではマスク着用をお願い致します。

■ この家族教室は、神戸市補助金により開催しております

主催 特定非営利活動法人神戸市精神障がい者家族会連合会(神家連)

〒650-0016 神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市立総合福祉センター4階

2024年度

こころの病家族教室参加申し込み票

申し込みは FAX またはメールでお願いします。

TEL・FAX 078—382—0105

Email shinkaren@juno.ocn.ne.jp

フリガナ	
氏 名	
住 所	〒
電話番号	
参 加 (いづれかに○を付けて下さい。)	全日 ・ 午前のみ ・ 午後のみ
家族会名又は所属	

当事者の声

「当事者から学ぶ～現実編～」

吉本 広志

精神障がい者に対する差別偏見は、根強いものがあります。鉄道の人身事故の自死者の9割が精神疾患といわれています。この社会に追い詰められて亡くなっていくのだと思います。社会の矛盾のしわ寄せが弱者にきているのだと思います。

私が、地下鉄のホームで待っていると隣にいた若い女性がふっと離れていくんです。私は嫌な思いをしました。「そんなに嫌か」と思いました。スーパーとかに行くと警備が近づいてきて「何かしないか」と見ているんですね。「何かするだろう」と。犯罪者扱いです。バスに乗っていても乗務員が見ているわけです。「目を離さないぞ」という感じで。一般に働いている人にはそんな目では見ないです。

兵庫県精神医療人権センターでボランティアをしていると色々なことを聞きます。家族が退院を反対していて退院できない。病院は患者を退院させるつもりはないのか、などです。

私は何もやっていません。ひとりの人間が地震を起こすなんてあり得ないです。やまいで誇大妄想とか関連妄想とか被害妄想とかあります。周りも何か勘違いしているのではないかと思うことがあります。私がどうあがいても何もできません。地震はこれからも起こるし、私はどうしようもありません。幻聴が聴こえることがあります。しかし、まぼろしです。

周りは精神障がいを理解できないのだと思います。だから、怖いもの危ないものという見方をして差別するのだと思います。社会の理不尽さを感じています。周りからマークされて辛い思いをしてきました。本当に辛かったです。今は還暦を回り世間の常識的なことは諦めつつあります。パートナーも見つからないと思います。私はこれから、リカバリーカレッジ KOBE を続けて何か勉強できることがないかと模索しています。それが希望です。



こころの病 ひとりで悩まないで！

神家連 家族による電話相談

相談専用番号：078-954-5012

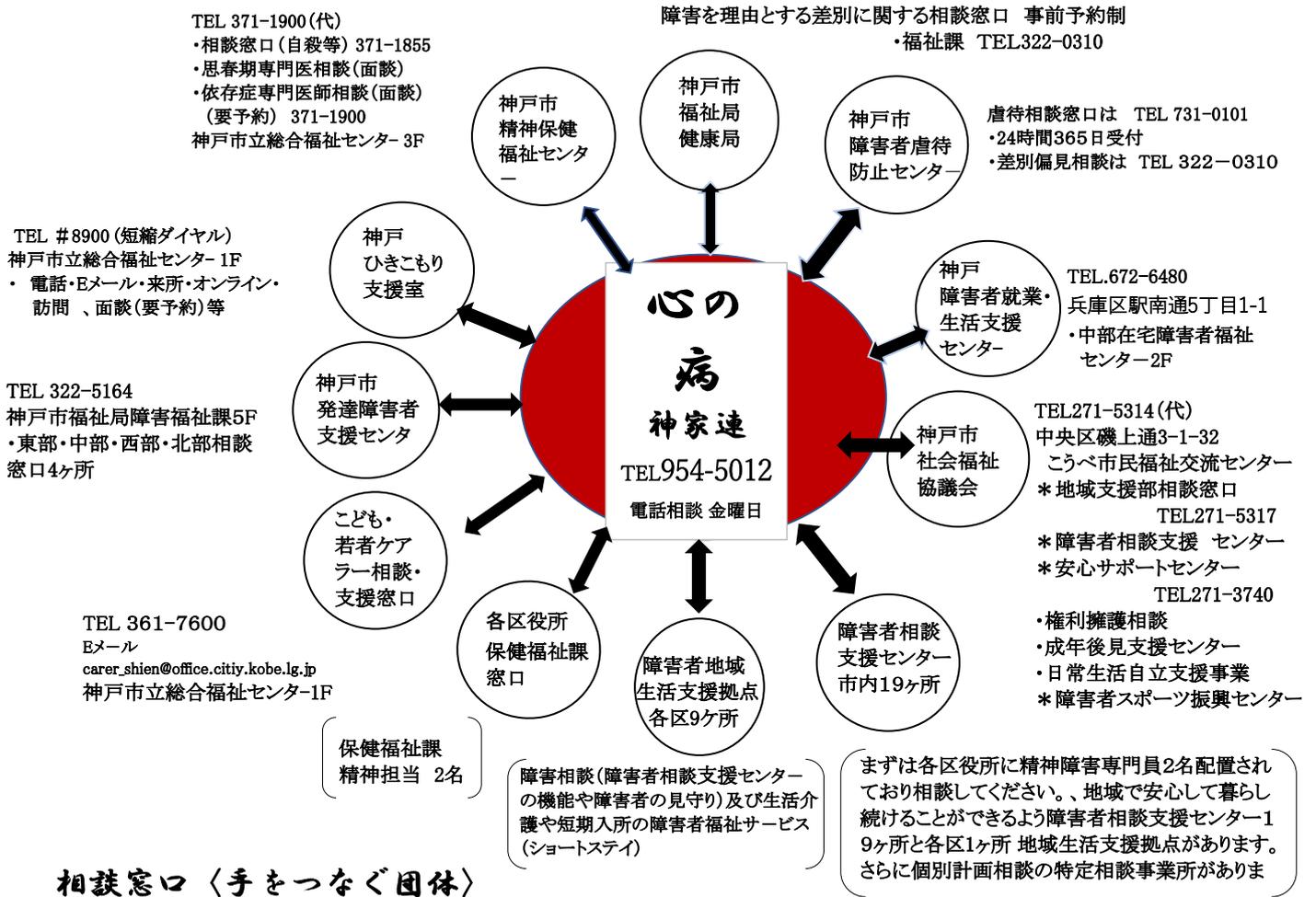
受付時間：第1～第4金曜日（除祝日）

10時～12時 13時～15時

（面談を希望される場合は予約をお願いいたします。）

手をつなぐ心の病相談窓口

NPO法人神戸市精神障がい者家族会連合会の輪



相談窓口〈手をつなぐ団体〉

- * 精神科救急窓口: (精神科救急情報センター TEL078-367-7210) (平日17時～ 翌日9時, 土・日: 午前9時～翌日午前9時)
- * 兵庫県精神福祉家族会連合会: (電話相談窓口 TEL891-3886) (午前10時～12時、午後1時～3時)
- * 兵庫県精神保健センター相談窓口、(相談予約 TEL:252-4980) (火曜日～土曜日午前)
- * 就労相談窓口: 精神障害者対象就労支援 (相談TEL:252-4980 職親会(中小企業グループ)、兵庫県精神保健センター内)
- * ひきこもりから自立(生活)訓練 (相談窓口 TEL262-1600) Basic academy(株式会社DOORS)
- * 障害者年金・相続(相談窓口 TEL230-3723, 携帯090-5972-3652): 金子友造 社会保険労務士事務所(社労士・FP)
- * 依存症・臨床心理 (相談窓口 TEL599-7365 幸地クリニック): 中元康雄 臨床心理士、PSW

家族会

神戸市内各地区10家族会と連携

事務局TEL:382-0105 神戸市立総合福祉センター内

<https://www.shinkaren.com>

【賛助会員のお願い】

神戸市精神障がい者家族会連合会(神家連)は、2024年9月に、NPO法人となって4年目を迎えます。これからも、精神障がい者の福祉増進に向けて、家族、関係機関と共に邁進していく所存です。つきましては、趣旨に賛同頂き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

☆賛助会費:年会費 個人 1口 3,000円、団体 1口 10,000円

賛助会費は郵便振替用紙をご利用下さい(申し訳ありませんが、手数料はご負担下さい)。

☆郵便振替番号: 00990-7-325255 加入者名: NPO法人神家連

☆会計年度: 4月1日~翌年3月31日

【連絡先】神戸市精神障がい者家族会連合会(神家連)事務所

〒650-0016 神戸市中央区橋通3丁目4-1 神戸市立総合福祉センター4階

TEL&FAX 078-382-0105 PCメール shinkaren@juno.ocn.ne.jp

寄付金・賛助会費等を有難うございました!

令和6年度 寄付金・賛助会費等を納入頂いた方(令和6年3月~6年7月)(敬称略)

【購読料】公明党神戸市議員団

【寄付】田村至、長谷川泰弘、藤原志津子、垂水家族会(代表・富本真弓)

【団体】就労継続支援B型作業所「ぼこあぼこ」(代表理事・加納郁久) 2口
社会保険労務士金子事務所(金子友造)

【個人】香川真二、吉田恵子、森川良恵、黒岩ウノ(2口)、豊田聖子、福島康子、
石川悦子、佐伯順一、東正幸、前嶋昌子、富本真弓

【カット募集しています!】

いつも神家連詩をご愛読くださりまして有難うございます。カットを皆様から募集しています。白紙(最小5cm x 5cm)に描いて郵送くださるか、データ(.jpg)にしてメール添付でお送りください。匿名可ですが、連絡先をお知らせください。採用分には1カット600円お支払いさせていただきます。送り先、PCメールアドレスは上記の通りです。ご応募お待ちしております!



【編集後記】

世界中に騒がしい日々が続いております。昭和の敗戦後、大きな戦争が起こらないのではと、錯覚しておりました。唯々見守るばかりです。日本は己の力で民主主義を勝ち取ったことがない。又、世界で民主主義の力が弱っているのでは?という記事を読みました。当事者の方々にとって困難は多いと存じます。あらゆる社会的資源を活用して、前向きに生きて下さったら、と思います。(J・N)